

Ⅷ 2021 年度事業の点検・評価及び 2022 年度の事業計画

1 概要

文部科学省告示「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(2012.12)では、公共図書館は、当該図書館の基本的な運営方針を踏まえて策定した指標及び目標と事業計画について、毎年度、自己及び関係者・第三者による点検・評価を行い、PDCAサイクルによる進捗管理の実施に努めることとされている※。

当館では、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に準拠し、2014 年 8 月に「愛知県図書館の基本的な運営方針～すべての県民に役立つ拠点図書館をめざして」を策定した。基本的な運営方針で定めた 4 つの取組のもと、行動目標と運営指標(数値目標)からなる行動計画を策定し、毎年度、行動計画に即した事業計画を策定するとともに、その達成状況について、当館及び図書館専門委員会による点検と評価を実施している。

2020 年度からは、2018 年度末に策定した「後半 5 年の行動計画」(実施期間：2019 年度～2023 年度)による事業計画と運営指標(数値目標)の達成状況について、点検と評価を実施している。

※「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」第二(公立図書館)の一(市町村立図書館)の 1(管理運営)の(一)(基本的運営方針及び事業計画)及び(二)(運営の状況に関する点検及び評価等)を参照。第二の一に定める市町村立図書館に係る基準は、都道府県立図書館に準用される(第二(公立図書館)の二(都道府県立図書館)の 6(準用)を参照)。

2 2021 年度事業の自己点検・評価

① 2021 年度事業の評価

2021 年度は、10 の行動目標について、67 の事業を計画し実施した。評価の概要については、下表のとおりである(詳細については、24～45 ページの別表を参照)。

取組	行動目標	事業計画 の項目数	評価※				
			A	B	C	D	—
1 すべての県民への図書館サービスの提供	① 誰でも利用しやすい図書館サービスの推進	17	15	2			
	② 地域の課題解決に役立つ図書館サービスの提供と拡充	9	8	1			
	③ 学校や地域、家庭での子供読書活動の支援	6	5	1			
	④ 資料保存体制の整備及びデジタル化の推進	5	4	1			
	小計	37	32	5			
2 市町村立図書館等への支援	⑤ 協力貸出、相互貸借の拡充	3	2	1			
	⑥ 市町村立図書館等の運用・人材育成の支援	3	3				
	小計	6	5	1			
3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成	⑦ 様々な団体・行政機関と連携する場と機会の提供	6	4	2			
	⑧ 多様なメディアを活用した広報の強化	10	9	1			
	小計	16	13	3			
4 図書館活動を支える県図書館体制の整備	⑨ ものづくり文化、地域資料などの専門的な資料の収集と提供	4	4				
	⑩ 新しい取組みを担う県図書館職員の育成	4	3	1			
	小計	8	7	1			
	計	67	57	10			

※ 事業計画の点検・評価については、「あいち文化芸術振興計画 2022 年次報告書」の評価区分（下表）を使用。

評価区分	目標達成状況（評価の目安）	
A	予定を上回る効果があり、着実に進捗	100%以上
B	予定どおり進んでおり、概ね順調に進捗	80%以上 100%未満
C	一部で予定どおり進んでおらず、やや進捗が遅れている	60%以上 80%未満
D	予定どおり進んでおらず、進捗が遅れている	60%未満
—	対象年度に、事業の実施が無い等により、評価不能の場合	

67 の事業項目のうち、A評価が 57 項目 (85%)、B評価が 10 項目 (15%) で、A評価とB評価で 100%となった。また、「重点的に取り組む事項」として計画した以下の事項を着実に実施し、成果を上げることができた。

ア 開館 30 周年記念事業の実施と県政 150 周年記念事業に向けた企画立案

開館 30 周年記念講演会「公共図書館の過去・現在・未来」を始め、講演会・ワークショップ 4 回、企画展示 11 件を実施した。2022 年度の県政 150 周年関連展示を企画し、先行して「愛知県事始め(1)愛知県の誕生」を実施した。

イ Yotteko（ヨッテコ）の活用

1 階エントランス Yotteko（ヨッテコ）で、「スポーツを読んで楽しもう!」、「ジブリパーク開園まであと 1 年」、「あいちアール・ブリュット展」など、29 件の企画展示を県の関係各課とも連携しながら実施した。

ウ 「新しい生活様式」に対応した図書館サービスの充実

新たな電子書籍を 143 点購入した。また、オンラインによる利用登録申請受付を開始し、来館しなくても電子書籍を利用できる体制を整備した。

エ 資料の充実を図る事業実施の検討

新たな寄附制度「あいち Book サポーター」を開始した。

オ 図書館関係者への研修の強化

愛知図書館協会等のネットワークも活用し、オンライン開催等の手法も工夫しながら、館外向け 13 回、館内向け 11 回の研修を実施した。

以上の結果から、事業計画は十分に進捗したと評価した。

② 運営指標（数値目標）の点検

「後半5年の行動計画」で定めた6つの運営指標（数値目標）の達成状況は、以下のとおりである。

取組	運営指標（数値目標）	2021年度達成状況	参考（2020年度）
1 すべての県民への図書館サービスの提供	I 入館者数（38万5千人以上）※1	418,219人 （進捗率：108.6%）	341,146人 （進捗率：103.3%）
	II 利用者の満足度（「来館の目的が達成できた」が90%以上	来館者アンケートでの「来館の目的達成度」が85.6% （進捗率：95.1%）	来館者アンケートでの「来館の目的達成度」が87.9%
	III 蔵書検索アクセス数（180万回）	2,085,425回 （進捗率：115.9%）	1,791,494回 （進捗率：99.5%）
2 市町村立図書館等への支援	IV 協力貸出の冊数（市町村立図書館向け10,800冊以上※2、学校図書館向け年間2,000冊以上※3）	市町村立図書館向け 11,420冊 （進捗率：105.7%） 学校図書館向け 3,467冊 （進捗率：173.4%） 合計： 14,887冊 （進捗率：116.3%）	市町村立図書館向け 10,316冊 （進捗率：95.5%） 学校図書館向け 2,814冊 （進捗率：234.5%） 合計：13,130冊 （進捗率：109.4%）
3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成	V 主要紙での評価（「プラス」評価が80%以上）	78.6%（42件中 プラス：33件、中立：9件、マイナス：0件） （進捗率：98.3%）	82.7%（29件中 プラス：24件、中立：5件、マイナス：0件）
4 図書館活動を支える県図書館体制の整備	VI 職員の講師派遣・協会等での発表回数（17回以上）※1	23回（講演等21回、文献発表2回） （進捗率：135.3%）	14回（講演等12回、文献発表2回） （進捗率：100%）

感染症拡大の影響を大きく受ける指標であることから次のように数値目標を補正した。

※1 2020年度は元の数値目標の60%、2021年度は元の数値目標の70%

※2 2020年度、2021年度ともに元の数値目標の60%

※3 2020年度は元の数値目標の60%

上表のように、「入館者数」、「III 蔵書検索アクセス数」、「IV 協力貸出の冊数」及び「VI 職員の講師派遣・協会等の発表回数」で数値目標を上回った。また、「II 利用者の満足度」、「V 主要紙での評価」については、目標値近くに迫っている。全体として目標値をほぼ達成しており、事業が十分に進捗したことを反映した結果となっている。

3 2022 年度の事業計画

2022 年度は、2021 年度の事業計画の達成状況と点検・評価の結果及び図書館を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえ、10 の行動目標に向けた事業計画を別表(24～45 ページ)のとおり策定した。運営指標(数値目標)については、感染症の動向も予断を許さないことから、2021 年度に定めた目標値を踏襲するが、2021 年度実績で目標値を超えたものについては上方修正した。

① 事業計画の中で特に重点をおいて取り組む事業

ア 県政 150 周年記念事業の実施

2022 年 11 月に県政 150 周年を迎えることから、当館に古くから所蔵している地域資料や郷土の新聞、地図などを活用し、県政 150 周年記念事業を実施する。

イ Yotteko (ヨッテコ) の活用

コロナ禍以降、感染症対策のため利活用を制限している Yotteko について、感染症の状況とその対策に留意しながら、県政の政策・重点プロジェクトの PR、講演会、県立の大学や周辺地域等との連携事業の拠点として活用を図る。

県の重要プロジェクトである「ジブリパークの推進」や「ロボット産業」始め、本県の特徴である「ものづくり」に関連した分野の展示や講演会、また県内全域の自治体や民間団体と連携した事業の実施を検討する。

ウ 「新しい生活様式」に対応した図書館サービスの充実

「新しい生活様式」に対応した図書館のあり方が求められていることから、電子書籍サービスの充実や利用の促進、動画配信によるサービスなどの非来館型サービスを推進する。

エ 貴重資料のデジタル化の推進

当館が所蔵する江戸時代の大判絵図など、地域の歴史を伝える貴重資料を新たにデータ化し、順次調査したうえで「貴重和本デジタルライブラリー」等のホームページで公開する。

オ 図書館関係者への研修の強化

県の拠点図書館として、県内図書館関係者への研修について、愛知図書館協会等のネットワークを活用し、県内図書館の状況の把握と研修に対する要望を踏まえ、時宜に適した内容の研修を、感染症拡大防止策を講じながら適切かつ効果的な手法により実施する。

② 運営指標(数値目標)の見直し

「Ⅰ 入館者数」、「Ⅳ 協力貸出の冊数」、「Ⅵ 職員の講師派遣・協会等での発表回数」については、2021 年度の目標を達成したため、次のとおり上方修正した。

Ⅰ 入館者数：44 万人以上（元の数値目標※の 80%）

Ⅳ 協力貸出の冊数のうち市町村立図書館向け：12,600 冊以上（元の数値目標の 70%）
学校図書館向け：3,500 冊以上（元の数値目標の 175%）

Ⅵ 職員の講師派遣・協会等での発表回数：20 回以上（元の数値目標の 80%以上）

※ 元の数値目標とは「基本的運営方針 後半 5 年の行動計画」で定めた運営指標（数値目標）

残りの運営指標については、「基本的運営方針 後半 5 年の行動計画」で定めた運営指標(数値目標)の数値目標のままとした。数値の詳細は、次表のとおりである。

取組	2022 年度の運営指標 (数値目標)	(2021 年度)	(参考) 「基本的運営方針 後半 5 年の行動計画」で定めた運 営指標 (数値目標)
1 すべての県民 への図書館サー ビスの提供	I 入館者数 44 万人以上 ※80%補正	I 入館者数 38 万 5 千人以上 ※70%補正	I 入館者数 55 万人以上
	II 利用者の満足度 「来館の目的が達成でき た」が 90%以上	II 利用者の満足度 「来館の目的が達成でき た」が 90%以上	II 利用者の満足度 同左
	III 蔵書検索アクセス数 180 万回以上	III 蔵書検索アクセス数 180 万回以上	III 蔵書検索アクセス数 同左
2 市町村立図書 館等への支援	IV 協力貸出の冊数 市町村立図書館向け 12,600 冊以上 ※70%補正 学校図書館向け 3,500 冊以上 ※175%補正 合計：16,100 冊以上	IV 協力貸出の冊数 市町村立図書館向け 10,800 冊以上 ※60%補正 学校図書館向け 2,000 冊以上 ※元の目標値 合計：12,800 冊以上	IV 協力貸出の冊数 市町村立図書館向け 18,000 冊以上 学校図書館向け 2,000 冊以上 合計：20,000 冊以上
3 サービスを広 げる図書館ネッ トワークの形成	V 主要紙での評価 「プラス」評価が 80%以上	V 主要紙での評価 「プラス」評価が 80%以上	V 主要紙での評価 同左
4 図書館活動を 支える県図書館 体制の整備	VI 職員の講師派遣・ 協会等での発表回数 20 回以上 ※80%以上	VI 職員の講師派遣・ 協会等での発表回数 17 回以上 ※70%補正	VI 職員の講師派遣・ 協会等での発表回数 24 回以上

4 図書館専門委員会での主な意見

2022 年 6 月 7 日(火)に 2022 年度図書館専門委員会を開催し、2021 年度事業の点検・評価及び 2022 年度の事業計画などについて、協議・検討を行った。その概要は次のとおりである。

① 2021 年度事業の点検・評価について

- ・開館 30 周年年事業の実施など、重点的に取り組む事項として計画した内容について着実に実施し成果を上げることができている。
- ・数値目標についても目標をほぼ達成している。
- ・事業計画は十分に進捗したと専門委員会としても評価した。

② 2022 年度の事業計画について

- ・貴重資料のデジタル化について、是非進めていただきたい。
- ・1 階エントランス Yotteko を、新しい学びの場として検討していただきたい。
- ・市町村図書館に対して、広い範囲でサポートを行うと良い。
- ・各市町村図書館に、学校図書館の応援をしてもらうよう働きかけて欲しい。
- ・学校図書館への協力貸出数は大幅に増えているため、目標をそのままにとどめなくてもよい。
- ・委員から出された意見をふまえ、運営指標(数値目標)のうち「VI 協力貸出の冊数のうち学校図書館向け」について、目標値を上方修正することで、専門委員会として承認する。
(上記の目標数値は上方修正済み。)

(別表) 2021年度事業の点検・評価及び2022年度の事業計画(詳細)

取組 1 すべての県民への図書館サービスの提供

【行動目標①】誰でも利用しやすい図書館サービスの推進

概要：障害者、高齢者、外国人などのニーズに即した図書館サービスを推進します。安全で快適かつ魅力的で利便性の高い施設環境を整備し、多様な交流と学習、探求、発見、賑わいの場を提供し、多様な利用者のそれぞれの居場所となれる図書館を目指します。

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
(障害のある方へのサービス)	
(1) 視覚障害者等への朗読サービスを行う新規ボランティアを募集し、養成講座を開催します。	○ 朗読協力員養成講座の初級講座(全13回)を開催、11名が受講した。
(2) New! 社会生活を営む上でハンディキャップのある方への理解を深めていただくための資料の展示会や障害者の方の作品展などの企画展示事業を1回以上実施します。	○ 「見えにくい・見えにくくなってきた人の読書サポート体験イベント」を実施した。(7/3) ○ 企画展示「あいちアール・ブリュット作品展」を実施した。(1/14～3/1)【連携先：障害福祉課】
(高齢者の方へのサービス)	
(3) 感染症拡大防止に注意を払いながら、資料の展示会の実施などの代替企画の実施も念頭に置き一般向けの健康講座を実施します。	○ 企画展示「つながる・つなげる認知症ブックステーション2021」を実施した。(9/10～11/10)【連携：県高齢福祉課、(公社)認知症の人と家族の会】
(4) 読書補助具の点検を行い、必要に応じて更新等を実施します。	○ 各カウンターで日常的に点検した。
(外国人県民の方へのサービス)	
(5) 多文化サービスコーナーを充実するため、各外国語図書(日本語学習用資料を含む。)について、100冊を目標に収集します。	○ 各外国語図書(日本語学習用資料を含む。)について112冊(うち電子書籍9冊)を収集した。
(6) 多様な外国人県民の方への多文化サービスコーナーの周知を図るため、広報の改善を検討、実施します。	○ 「やさしいにほんご」を用いた図書館案内ページを作成し、当館ホームページに公開した。
(子育て支援サービス)	
(7) 2020年3月から休止している「おはなし会」の代わりに、家庭での読み聞かせ等に参考になる動画を作成し、YouTube愛知県図書館チャンネルで公開します。	○ 新規に動画3本を公開した。
(8) 「おはなし会」を、安全対策をとり再開する準備をします。	○ 職員によるおはなし会を再開した後、従前より回数や参加人数を減らし、サポーターによるおはなし会を再開、計16回のおはなし会を実施した。
(9) 子育ての方に役立つ他の機関や団体のチラシやパンフレット類を常備し、案内・配布します。	○ 美術館・博物館・資料館などの子ども向けのイベントのチラシや配布物を児童室の入口に常備し、配布した。

事業計画の評価区分

評価区分	目標達成状況（評価の目安）	
A	予定を上回る効果があり、着実に進捗	100%以上
B	予定どおり進んでおり、概ね順調に進捗	80%以上 100%未満
C	一部で予定どおり進んでおらず、やや進捗が遅れている	60%以上 80%未満
D	予定どおり進んでおらず、進捗が遅れている	60%未満
—	対象年度に、事業の実施が無い等により、評価不能の場合	

※網掛けは、特に重点をおいて取り組む事業

※下線は、運営指標（数値目標）

理由			2022年度の事業計画
昨年度 評価	点検 評価	理由	
			（障害のある方へのサービス）
—	A	朗読協力員養成講座の初級講座を実施し、新たな朗読協力員を養成することができたため。	(1) New! 視覚障害者等への朗読サービスを行うボランティア養成講座(中級)を開催します。
—	A	目標を上回る2回のイベント・展示を実施し、社会生活を営む上でハンディキャップのある方への啓発機会を作ることができたため。	(2) 継続実施
			（高齢者の方へのサービス）
—	B	感染症拡大防止のため、健康講座の実施は見送ったが、資料の展示を行うことができたため。	(3) 継続実施
A	A	日常的に点検を実施しているため。	(4) 継続実施
			（外国人県民の方へのサービス）
A	A	目標を上回る112冊を収集できたため。	(5) 継続実施
A	A	当館ホームページに、既存の外国語4か国語に加え「やさしいにほんご」を用いた図書館案内ページを作成したことで、多様な外国人県民の方へのコーナー周知の方法改善を実施できたため。	(6) 多文化サービスコーナーの活用を図るためコーナーの利便性向上や効果的な広報に努めます。
			（子育て支援サービス）
A	A	家庭での読み聞かせに参考となる動画を3本公開できたため。	(7) 「おはなし会」を、安全対策をとり実施します。
A	A	感染症拡大防止に留意しながら、おはなし会を再開できたため。	
B	A	美術館・博物館などの子ども向けのチラシ等の配布により、子育てに役立つ情報を提供できたため。	(8) 継続実施

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
(施設環境・学習環境の整備)	
(10) New! 来館者のどなたでも使えるフリーWi-Fiを全館的に整備します。	○ Aichi Free Wi-Fiを全館(1階から5階共用スペースにて)運用開始した。(8/1)
(11) 施設の老朽化に伴う必要な改修工事を以下のとおり実施します。 ・資料支援課事務室天井部雨漏り対策工事 ・照明制御設備更新工事 ・高圧進相コンデンサ等更新工事 ・多機能リレー更新工事	○ 予定していた4種の工事に加えて、3種の工事を実施した。 ・資料支援課事務室天井部雨漏り対策工事(12月完了) ・照明制御設備更新工事(1月完了) ・高圧進相コンデンサ等更新工事(3月完了) ・多機能リレー更新工事(3月完了) ・雑用給水ポンプユニット取替修繕(3月完了) ・5階及び3階雨漏り対策工事(3月完了) ・駐車場出入口拡張工事(3月完了)
(12) 若者や社会人の学習活動を支援するため、感染症拡大防止(「3密」回避)に留意しながら、大会議室での学習室開放を実施します。	○ 年間計26日開放した。
(入館者数・利用者の満足度) 【運営指標・数値目標見直し】	
(13) <u>利用者のニーズに応えるサービスの提供につとめ、年間38万5千人以上の入館者数を指すとともに、90%以上の方が来館の目的を達成できるよう資料やサービス環境を整備します。</u>	○ 年間入館者418,219人(前年度341,146人)(70%補正後の進捗率:109%) ○ 来館者アンケートによる目的達成率 85.6%
(危機管理)	
(14) New! 図書館業務の在り方(拡充、継続、縮小、中断業務等)についての調査・検討結果を踏まえ、地方機関BCP(業務継続計画)の見直しを行うとともに、適切に事業継続できる体制を整えます。	○ 地方機関BCP(業務継続計画)の見直しを行った。(1月完了)
(15) New! 講演会などのイベントや図書館見学・実習の実施に関して、緊急事態宣言等が発出された場合について、統一した運用ができるよう規程類を整備します。	○ 「感染症拡大防止措置ごとの企画展示実施の基準」を策定した。(施行10/21)
(「新しい生活様式」に対応した図書館サービスの充実)	
(16) 感染症拡大防止のため外出の自粛等「新しい生活様式」の励行が強く求められていることから、電子書籍サービスの充実やオンライン利用登録の導入等を検討し、非来館型サービスの充実を図ります。	○ 新規電子書籍を143点購入した。 ○ オンラインによる利用登録申請受付を開始した。(1/26)
(17) New! アンケートの実施等により、利用者層、利用目的等を把握し、今後のサービス内容検討のための資料とします。	○ 電子書籍アンケートをWeb上で実施した。(9/17~10/1)(回答者:44名) ○ 来館者アンケートを実施した。(2/25・26)(回答者:668名)(回収率:66.8%)

			2022年度の事業計画
昨年度 評価	点検 評価	理由	
			(施設環境・学習環境の整備)
—	A	Aichi Free Wi-Fiを全館的に整備し運用開始できたため。	(9) 来館者のどなたでも使えるフリーWi-Fiを全館的に運用します。
A	A	当初予定していた事業計画以上の工事を実施できたため。	(10) 施設の老朽化に伴う必要な改修工事を以下のとおり実施します。 ・制御・非常照明用直流電源装置更新工事
A	A	感染症拡大防止に留意しながら、前年度(17日)を上回って開室を実施できたため。	(11) 継続実施
			(入館者数・利用者の満足度) 【運営指標・数値目標見直し】
A	B	年間入館者数については目標値を上回り、来館者アンケートの目的達成率はやや下回ったため。	(12) <u>利用者のニーズに応えるサービスの提供につとめ、年間44万人以上の入館者数を指すとともに、90%以上の方が来館の目的を達成できるよう資料やサービス環境を整備します。</u>
			(危機管理)
—	A	当初予定していた事業計画通りの見直しを実施できたため。	(13) 新型コロナウイルスや災害への対応について、業務継続計画(愛知県庁BCP、地方機関BCP)の運用や防災訓練の実施等により、適切に事業継続できる体制を整えます。
—	A	イベントについて「感染症拡大防止措置ごとの企画展示実施の基準」を策定したため。	
			(「新しい生活様式」に対応した図書館サービスの充実)
A	A	電子書籍の充実を図るとともに、オンラインによる利用登録申請受付を開始し、来館しなくても電子書籍を利用することができるようになったため。	(14) 継続実施
—	A	2種類のアンケートの結果が利用者層、利用目的の把握につながり、今後のサービス内容を検討するための資料とすることができるため。	(15) 継続実施

【行動目標②】地域の課題解決に役立つ図書館サービスの提供と拡充

概要：地域の課題解決に役立つ図書館をめざします。ビジネス支援を拡充し、健康・医療サービス、行政支援などのサービスに取り組みます。また、地域の活性化や観光振興などのため、県内各地の取組を紹介したり、交流の場を提供します。

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
(レファレンス事例の公開登録)	
(18) 国立国会図書館のレファレンス協同データベースに、事例を20件以上登録します。	○ 年度末までに計20件の事例を登録した。 (2021年度現在 累計421件)
(行政支援サービス)	
(19) 県職員向け「県図書だより」を年間2回以上刊行します。	○ 2022年2月及び3月の2回発行した。
(20) New! 県図書館が所蔵する行政資料や地域資料の一層の利活用を図るために、県の事業や本県の特長(ものづくり等)に関連した企画展示を、県各局や関係団体と連携・協力し実施します。	○ 県各局や関連団体と連携しながら、以下の企画展示を実施した。 ・企画展示「ジブリパーク、開園まであと1年」(7/9～9/8)【連携先：県ジブリパーク推進課・県美術館】 ・企画展示「あいちの観光～あいちのダイスキな場所やモノ見つけよう～」(7/9～9/8)【連携先：県観光振興課】 ・企画展示「スポーツを読んで楽しもう！」(7/9～9/8)【連携先：県アジア競技大会推進課】 ・企画展示「愛知県における東京2020オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルのメモリアル展」(8/19～9/8)【主催：県スポーツ振興課】 ・企画展示「令和3年度愛知県定時制通信制生徒による作品展 オンリーワンが大集結」(9/10～10/13)【主催：愛知県定時制通信制教頭・副校長会、後援：愛知県図書館】 ・企画展示「青少年によい本をすすめる県民運動」(9/10～11/10)【連携：県社会活動推進課】 ・企画展示「国際果実野菜年2021」(9/10～11/10)【連携：県園芸農産課】 ・企画展示「つながる・つなげる認知症ブックステーション2021」(9/10～11/10)【連携：県高齢福祉課、(公社)認知症の人と家族の会】 ・企画展示「愛知の空港PR写真展」(10/15～11/10)【連携：県航空空港課】 ・パネル展示「北朝鮮による拉致問題」(11/12～12/8)【連携：県国際課】 ・ポスター掲示「ITS(高度道路交通システム)について」(11/12～12/8)【主催：県交通対策課】 ・企画展示「開館30周年記念・あいちものづくり―伝統・未来―」(11/12～1/12)【連携：県産業振興課】 ・人権啓発展示「人権のほんだな。2021ジェンダー」(12/10～2/9)【連携：県人権推進課】 ・「愛知県政150周年展示 愛知県事始め(1)愛知県の誕生」(12/10～3/1)【連携：県企画課】 ・企画展示「あいちアール・ブリュット作品展」(1/14～3/1)【連携先：障害福祉課】 ・企画展示「第65回愛知県統計グラフコンクール入賞作品展」(2/11～3/1)【連携先：県統計課】

			2022年度の事業計画	
昨年度 評価	点検 評価	理由		
			(レファレンス事例の公開登録)	
A	A	計画どおり、20件のレファレンス事例を登録することができたため。	(16) 継続実施	
			(行政支援サービス)	
A	A	年2回刊行し、オンラインによる利用登録申請受付開始などを周知させることができたため。	(17) 継続実施	
—	A	県各局と連携・協力して、県の事業を紹介するパネル等と、それに関連した図書館資料を併せて展示することにより、資料の利活用につなげることができたため。	(18) 継続実施	

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
(ビジネス支援サービス)	
(21) ビジネス支援に関する講演会等の企画や関連資料の展示事業を専門機関や外部の団体と連携して実施します。	○ 企画展示「事業承継・起業を応援します！」を実施。(1/14～3/1)関連イベントとして、日本政策金融公庫と連携してオンラインセミナー「起業のコツを落語で学ぶ！」を開催。(2/6)
(利用者向け図書館利用講座の実施等)	
(22) 利用者の調査研究を支援するため、館備え付けのデータベースの活用講座などを実施するとともに、機器配置の再検討など利用しやすい環境整備を行います。	○ データベースの活用講座を2月に実施予定だったが、まん延防止等重点措置の発出に伴い中止した。 ○ データベースの利用者増加に対応するため機器配置の変更を実施した。
(行政機関・関係団体との連携・協力)	
(23) 県図書館が所蔵する行政資料や地域資料の一層の利活用を図るために、県の事業や本県の特徴(ものづくり等)に関連した企画展示を、県各局や関係団体と連携・協力し実施します。 《(20)の再掲》	《(20)と同様》
(24) New! 2022年度が本県県政150周年であることから、来年度実施する関連企画展示を企画・立案します。	○ 関連企画展示を企画・立案。年間を通して5回程度の展示を開催予定。先行して「愛知県政150周年関連展示 愛知県事始め(1)愛知県の誕生」(12/10～3/1)を開催した。
(地域連携)	
(25) 観光情報コーナーについて、県の担当局、県内市町村の観光関係当局、地域の観光協会等と連携し幅広い観光情報の収集・提供を実施し、充実を図ります。	○ 県内自治体、市町村立図書館、観光協会等関係機関に観光情報の提供を依頼し収集・提供を実施した。
(26) 東三河コーナーについて、県東三河総局、東三河8市町村の観光関係当局等と連携・協力し、東三河の観光情報の幅広い収集・提供を実施します。また、東三河の自然・文化等を紹介する企画展示を実施します。	○ 「愛知県図書館と東三河地域の市町村及び観光団体との地域振興に係る情報発信の連携・協力に関する協定」の連携先である東三河地域の市町村(8自治体)及び観光団体(10団体)に観光情報の提供を依頼し収集・提供を実施した。 ○ 東三河の自然・文化等を紹介する企画展示を実施した。(p63「東三河コーナー展示」参照)

			2022年度の事業計画
昨年度 評価	点検 評価	理由	
			(ビジネス支援サービス)
			(19) 継続実施
A	A	専門機関や民間団体と連携した企画展示を実施し、関連イベントについても感染症拡大防止に配慮してオンライン配信で実施できたため。	
			(利用者向け図書館利用講座の実施等)
A	B	データベースの活用講座について、感染症拡大防止のため実施を中止したが、データベースの機器配置の変更については予定通り実施できたため。	(20) 利用者の調査研究を支援するため、館備え付けのデータベースの活用講座などを実施します。
			(行政機関・関係団体との連携・協力)
A	A	県各局と連携・協力して、県の事業を紹介するパネル等と、それに関連した図書館資料を併せて展示することにより、資料の利活用につなげることができたため。	(21) 継続実施《(18)の再掲》
—	A	2022年度における県政150周年に関連する企画展示について、企画・立案をすることができたため。	(22) 2022年度が本県県政150周年であることから、県政にちなんだ講演会などの企画展示を実施します。
			(地域連携)
A	A	幅広い観光情報の収集・提供を実施し、コーナーの充実を図ることができたため。	(23) 継続実施
A	A	幅広い観光情報の収集・提供及び、東三河の自然・文化等を紹介する企画展示を実施することができたため。	(24) 継続実施

【行動目標③】学校や地域、家庭での子供読書活動の支援

概要：子供の読書活動を支援するため、学校図書館を始め関係機関・団体と連携し、資料の提供や、活動への支援を進めます。

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
(県立学校への協力貸出)	
(27) 県立学校最寄りの市町村立図書館を経由した協力貸出について、学校訪問等によってニーズを確認し、対象学校を拡大します。対象校を17校以上にします。	○ 新たに2校に対して市町村立図書館を経由した協力貸出を開始し、対象校を17校とした。 ○ 司書教諭研修会(10/1)、高等学校初任者研修(10/12)で高校支援サービスについて説明した。
(28) 県図書館から学校(図書館)に向けて年間2,000冊以上の協力貸出を目指します。(市町村立図書館への協力貸出と合わせて12,800冊以上)【運営指標・数値目標見直し】	○ 年間協力貸出点数：3,467点(市町村立図書館への協力貸出と合わせて14,887点)
(県立高校等と連携した企画展示の実施)	
(29) 県立高校等の児童・生徒による学習活動の発表の場としてYotteko等を活用した企画展示を1回以上実施します。	○ 企画展示「令和3年度愛知県定時制通信制生徒による作品展 オンリーワンが大集結」を実施した。(9/10～10/13)【主催：愛知県定時制通信制教頭・副校長会、後援：愛知県図書館】
(子供読書活動のためのアウトリーチ活動の推進)	
(30) 子供の読書活動推進のため、読み聞かせやブックトークといったイベントでの協力、学校図書館の運営に対する助言や支援ができるよう体制を整備し、積極的に市町村立図書館や学校等へ職員を派遣します。	○ 以下の講座に講師・協カスタッフを派遣した。 ・県立高等学校司書教諭研修会(10/1)【主催：県教委 高等学校教育課】 ・高等学校初任者研修(10/12)【主催：県高等学校校長会】 ・吉良高等学校図書館教養講座(10/27) ・豊橋西高等学校(県政お届け講座)(10/27) ・愛知県子供読書活動推進大会・高校生ビブリオバトル愛知県大会(11/3)【主催：県教委生涯学習課】
(子供読書活動の推進)	
(31) 子供読書活動推進に係る関係機関や団体等と連携・協力し、イベントや企画展示を実施します。	○ 以下のイベントや企画展示を実施した。 ・本の帯コンクール優秀作品巡回展示(6/11～6/20)【連携：名古屋市教育委員会】 ・企画展示「青少年によい本をすすめる県民運動」(9/10～11/10)【連携：県社会活動推進課】 ・愛知県子供読書活動推進大会・高校生ビブリオバトル愛知県大会(11/3)【主催：県教委生涯学習課】
(団体貸出の調査)	
(32) 団体のニーズ把握に努め、協力貸出による資料提供の可能性を検討します。	○ 他県の都道府県立図書館の団体貸出について、運用状況の調査を行った。

			2022年度の事業計画
昨年度 評価	点検 評価	理由	
			(県立学校への協力貸出)
B	A	研修会等で県立学校のニーズを確認し、計画通り、対象校を17校とすることができたため。	(25) 県立学校最寄りの市町村立図書館を経由した協力貸出について、学校訪問等によってニーズを確認し、対象学校を拡大します。対象校を19校以上にします。
A	A	予定の冊数を上回り、また昨年度の貸出冊数を上回る協力貸出を実施することができたため。	(26) 県図書館から学校(図書館)に向けて年間3,500冊以上の協力貸出を目指します。(市町村立図書館への協力貸出と合わせて16,100冊以上)【運営指標・数値目標見直し】
			(県立高校等と連携した企画展示の実施)
A	A	県内の定時制・通信制高校の文化部所属生徒の作品を展示することができたため。	(27) 継続実施
			(子供読書活動のためのアウトリーチ活動の推進)
A	A	県立学校の教師のための研修講師、生徒のための出張ブックトークなどを行ったため。	(28) 継続実施
			(子供読書活動の推進)
A	A	子供読書推進のため、関連機関と連携して資料の展示を実施し、高校生ビブリオバトル愛知県大会では、高校生や子供読書に係る人向けに、県図書館の紹介を行ったため。	(29) 継続実施
C	B	ニーズ把握のため、都道府県立図書館について運用状況調査を行うことができたため。	完了

【行動目標④】 資料保存体制の整備及びデジタル化の推進

概要：県の拠点図書館としての資料保存の中心的な役割を果たすために、資料保存体制を整備するとともに、地域資料を中心にデジタル化を進めます。

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
(あいちラストワン・プロジェクトの拡大)	
(33) 図書館未設置自治体へのあいちラストワン・プロジェクトの説明・意向確認調査を継続します。	○ 豊山町社会教育センター図書室を訪問し、あいちラストワン・プロジェクトの説明を行った。 ○ 当館を訪問した東栄町教育委員会の担当者に対し、説明を行った。
(資料補修研修の実施)	
(34) 資料補修技術を有する職員養成のため、引き続き研修を実施します。	○ 館内職員向けの資料保存研修を実施した。(6/10、7/8) ○ 愛知図書館協会による資料保存研修を実施した。(1/27)
(35) 資料補修研修については、実習の関係上、参加人数が限られることから、未参加者にも知識や技法を教授するツールを開発します。	○ 1月に開催した愛知図書館協会資料保存研修の録画映像を未参加者に配信した。(2月) ○ 当館職員による資料補修実演動画をYouTube愛知県図書館チャンネルで配信した。(3月)
(資料のデジタル化の推進)	
(36) 貴重和本の撮影済みデータや、自館でデジタル化したデータを順次調査し、「貴重和本デジタルライブラリー」等のホームページで公開します。(目標：10タイトル)	○ 貴重和本のうちデジタル化したデータを調査し、「貴重和本デジタルライブラリー」等のホームページで12タイトルを公開した。
(蔵書収容能力の維持・管理)	
(37) 開架及び閉架書庫の有効活用を図るため、適切な計画に基づく書庫への配転作業及び除籍候補選定のための複本所蔵資料の調査を実施します。	○ 開架図書8,788冊を書庫に配転し、複本所蔵資料156冊を除籍した。

			2022年度の事業計画
昨年度 評価	点検 評価	理由	
—	B	一部施設に説明を行うことができたため。	(あいちラストワン・プロジェクトの実施)
			(30) あいちラストワン・プロジェクトを効果的に進めるため、運用方法の見直しを進めます。
A	A	資料補修技術を有する職員養成のための研修を実施することができたため。	(資料補修研修の実施)
			(31) 資料補修技術を有する職員養成のため、引き続き研修を実施します。
C	A	資料補修研修を未参加者も閲覧ができるようにすることができたため。	
A	A	目標を上回る、12タイトルを公開できたため。	(資料のデジタル化の推進)
			(32) New! 貴重和本を新たにデータ化し、順次調査したうえで「貴重和本デジタルライブラリー」等のホームページで公開します。(目標：8タイトル)
B	A	計画的に書庫への配転作業を行い、複本資料の除籍については調査の上、除籍処理まで実施することができたため。	(蔵書収容能力の維持・管理)
			(33) 継続実施

取組2 市町村立図書館等への支援

【行動目標⑤】協力貸出、相互貸借の拡充

概要：市町村立図書館等との間で運行している資料搬送定期便の効率的な運用により、協力貸出、相互貸借の拡充を図ります。

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
(市町村立図書館等への協力貸出) 【運営指標・数値目標見直し】	
(38) 県図書館から市町村立図書館に向けて年間10,800冊以上の協力貸出を目指します。 (学校(図書館)への協力貸出と合わせて12,800冊以上)	○ 年間協力貸出点数：11,420点(学校(図書館)への協力貸出と合わせて14,887点)
(資料搬送定期便の維持)	
(39) 安定した資料搬送のため、予算確保や運行の効率化に努め、週1回の資料定期搬送便を維持します。	○ 年間を通し、週1回の資料定期搬送便の運行を行った。市町村立図書館職員に適切な利用方法を周知するとともに、2022年3月から1年間の業者との契約も行った。
(協力貸出の流通状況の調査)	
(40) New! 協力貸出データの分析だけでなく、市町村立図書館からの購入リクエストや、市町村立図書館が県外から取り寄せた資料の分析など、潜在的な需要も含めた把握のための手法を検討します。	○ 昨年度行った協力貸出データの分析に加え、市町村立図書館の購入リクエストや、県外から取り寄せた図書について調査を行い、愛知県以外の地域資料、高額の研究書・専門書、発行年の古い図書等様々な図書が県外から取り寄せられていることを確認した。

【行動目標⑥】市町村立図書館等の運用・人材育成の支援

概要：市町村立図書館等が地域の課題解決に資する質の高いサービスを提供できるよう、運用・人材育成を支援します。

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
(図書館訪問)	
(41) 県図書館の市町村立図書館へのサポートのニーズを把握し、それぞれの地域での読書推進活動に資するため、感染症の動向を考慮に入れながら、市町村の中央図書館の1/5以上(10館以上)を計画的に訪問します。感染症が収束せず、計画通りの訪問が難しい場合は、訪問以外の方法で市町村立図書館と情報交換を行い、サポートに努めます。	○ 豊田市中央図書館をはじめ10館を訪問した。
(42) 図書館未設置自治体についても、公民館図書室等の施設や読書推進活動の担当課等を1以上訪問し、図書館未設置自治体での読書推進活動を把握します。	○ 豊山町社会教育センター図書室を訪問した。 ○ 貸出文庫利用図書室については、訪問できなかった施設も、当館訪問時や電話にて連絡を行った。
(県内の図書館関係者への研修の強化)	
(43) 愛知図書館協会等のネットワークを活用し、県内図書館の状況の把握と研修に対する要望を踏まえ、時宜に適した内容の研修を、感染症拡大防止策を講じながら、適切かつ効果的な手法を検討し実施します。	○ 愛知県公立図書館長協議会主催で計4回、愛知図書館協会主催で計9回の研修を実施した。(p12・13「イ 愛知県公立図書館長協議会の研修」「ウ 愛知図書館協会の研修」参照)

			2022年度の事業計画
昨年度 評価	点検 評価	理由	
			(市町村立図書館等への協力貸出) 【運営指標・数値目標見直し】
B	A	目標冊数を達成することができたため。	(34) 県図書館から市町村立図書館に向けて年間12,600冊以上の協力貸出を目指します。(学校(図書館)への協力貸出と合わせて16,100冊以上)
			(資料搬送定期便の維持)
A	A	年間を通して、週1回の資料定期搬送便の運行を行うことができたため。	(35) 継続実施
—	B	市町村立図書館に対して調査し、分析することができたため。	完了

			2022年度の事業計画
昨年度 評価	点検 評価	理由	
			(図書館訪問)
D	A	計画通りの館数を訪問することができたため。	(36) 継続実施
B	A	計画通りの館数を訪問することができたため。	(37) 継続実施
			(県内の図書館関係者への研修の強化)
B	A	研修内容と感染の状況を踏まえ、適切な内容の研修を年間を通して実施することができたため。	(38) 継続実施

取組3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成

【行動目標⑦】 様々な団体・行政機関と連携する場と機会の提供

概要：各種団体や行政機関と連携して講演会や資料展示会等を開催し、県民の方と県図書館、各種団体及び行政機関が持つ知的資源を結び付けます。

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
(文化芸術機関等との連携)	
(44) 愛知芸術文化センター（栄施設）の各施設や陶磁美術館、愛知県公立大学法人の各大学等と連携して、第一線の文化芸術活動を一般の方に紹介する講演会等の企画展示を実施します。	○ 以下の講演会や企画展示を実施した。 ・文化芸術に関する連続講座 (p63「② 文化芸術に関する連続講座」参照) ・リベラルアーツカフェ (p64「④ リベラルアーツカフェ」参照) ・企画展示「ジブリパーク、開園まであと1年」 (7/9～9/8)【連携先：県ジブリパーク推進課・県美術館】 ・企画展示「あいちアール・ブリュット作品展」 (1/14～3/1)【連携先：障害福祉課】
(行政機関・関係団体との連携・協力)	
(45) 県図書館が所蔵する行政資料や地域資料の一層の利活用を図るために、県の事業や本県の特徴（ものづくり等）に関連した企画展示を、県各局や関係団体と連携・協力し実施します。《(20)の再掲》	《(20)と同様》
(46) New! 2022年度が本県県政150周年であることから、来年度実施する関連企画展示を企画・立案します。《(24)の再掲》	《(24)と同様》
(県立高校等と連携した企画展示の実施)	
(47) 県立高校等の児童・生徒による学習活動の発表の場としてYotteko等を活用した企画展示を1回以上実施します。《(29)の再掲》	《(29)と同様》
(県公文書館との連携)	
(48) New! 県公文書館と連携・協力して、県図書館と県公文書館が所蔵する地域資料・県関係行政資料の利活用を促進します。	○ 横断検索システムでの連携について調整中である。 ○ ボーンデジタル資料の対応について協議中である。
(団体貸出の調査)	
(49) 団体のニーズ把握に努め、協力貸出による資料提供の可能性を検討します。《(32)の再掲》	《(32)と同様》

			2022年度の事業計画
昨年度 評価	点検 評価	理由	
A	A	愛知芸術文化センター、陶磁美術館、愛知県立大学、愛知県立芸術大学などの専門家による講演会、並びに障害福祉課との連携によりアート雇用の障害者による作品展を実施することができたため。	(文化芸術機関等との連携) (39) 継続実施
A	A	県各局と連携・協力して、県の事業を紹介するパネル等と、それに関連した図書館資料を併せて展示することにより、資料の利活用につなげることができたため。	(行政機関・関係団体との連携・協力) (40) 継続実施《(18)の再掲》
—	A	2022年度における県政150周年に関連する企画展示について、企画・立案することができたため。	(41) 2022年度が本県県政150周年であることから、県政にちなんだ講演会などの企画展示を実施します。《(22)の再掲》
A	A	県内の定時制・通信制高校の文化部所属生徒の作品を展示することができたため。	(県立高校等と連携した企画展示の実施) (42) 継続実施《(27)の再掲》
—	B	利活用促進に向けて、調整・協議を進めることができているため。	(県公文書館との連携) (43) 継続実施
C	B	ニーズ把握のため、都道府県立図書館について運用状況調査を行うことができたため。	完了

【行動目標⑧】多様なメディアを活用した広報の強化

概要：県図書館の活動を県民に知ってもらい、身近な存在となるようホームページ、ソーシャルネットワークサービス（SNS）や動画サイトなど様々なメディアを活用し、広報活動の強化に努めます。

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
（事業年報・館報の刊行）	
(50) 「事業年報」及び館報「あゆち」の発行については、昨年度並みの時期の発行を目指すとともに、内容について、時宜に即したものとなるようにします。	○ 事業年報(10/29付刊行) ○ 館報「あゆち」(3月刊行)
（SNSの活用）	
(51) 引き続き既存のSNS (facebook、Twitter) の内容の充実を図るとともに、新しい種類のSNSの活用を検討し、フォロワー数の増加(5%)を目指します。 ・2023年度末時点でフォロワー数について2018年度(1,661人)比27%増とする。	○ 1日1冊を目途に電子書籍の紹介をツイッターで紹介している。 ○ 3月末現在フォロワー数：2,345人
(52) New! 新しく導入した電子書籍サービスの一層の利活用を促進するため、効果的なPRの方策を検討・実施します。	○ 1日1冊を目途に電子書籍の紹介をツイッターで紹介している。 ○ 県内ファミリーマートに電子書籍のポスターを掲示した。 ○ 電子書籍の提供元である紀伊國屋書店の県内店舗(3店)で電子書籍のポスターを掲示した。 ○ 企画展示「電子書籍サービス1周年！「てのひらの図書館」」を開催した。(1/14～3/1)
（ホームページの見直し）	
(53) 当館のホームページについて、見やすく親しみやすいものにするため、見直しの検討を開始し、作業に着手します。	○ 展示イベント一覧へのリンクをトップページに追加し、現在開催中の展示・イベントが一目でわかるようにした。 ○ 今年度新たに始まったサービスについて、トップページにバナーやリンク先を追加した。 ○ 「やさしいにほんご」を用いた図書館案内ページを作成した。
（主要紙での広報）【運営指標】	
(54) <u>主要紙での広報について、県図書館の取組みを伝えるもの(企画展示の案内を含む。)</u> が80%以上となるようメディアに働きかけます。	○ プラス評価の記事の割合：78.6%(33件/42件)
（電子書籍サービスのPR）	
(55) New! 新しく導入した電子書籍サービスの一層の利活用を促進するため、効果的なPRの方策を検討・実施します。《(52)の再掲》	《(52)と同様》
（会議やアウトリーチ活動等での広報）	
(56) 引き続き、会議や研修、アウトリーチの場を使い、県図書館の広報に努めます。	○ 6月に県内ファミリーマートで電子書籍のポスターを掲示。電子書籍の提供元である紀伊國屋書店の県内店舗(3店)でもポスターを掲示。 ○ 久屋ぐるっとアートで「愛知県図書館開館30周年記念展」を実施。(11/3～11/7) ○ 愛知県子供読書推進大会・高校生ビブリオバトル愛知県大会で県図書館を紹介。(11/3) ○ 県政お届け講座(豊橋西高等学校)を実施。(10/27)

			2022年度の事業計画
昨年度 評価	点検 評価	理由	
			(事業年報・館報の刊行)
A	A	予定通り刊行し、あゆちの内容について県政150年を意識した内容とすることができたため。	(44) 継続実施
			(SNSの活用)
A	A	電子書籍の紹介によりSNSの内容充実を図り、フォロワー数が前年度の10.4%増、2018年度の41%増となったため。	(45) 継続実施
—	A	ツイッターを活用したPRの方策を検討し、実施することができたため。	(46) 継続実施
			(ホームページの見直し)
A	A	大幅な見直しは予算面で不可能だが、課題点を洗い出し、自館作業で可能な部分については、見やすくなるように随時改訂し、新たなページの作成も行ったため。	(47) ホームページについて、トップページのバナーの配置などを見直し、情報が探しやすくなるように改訂します。
			(主要紙での広報) 【運営指標】
A	B	主要紙での広報について、県図書館の取組みを伝えるものが80%をやや下回る数値となったため。	(48) 継続実施
			(電子書籍サービスのPR)
—	A	多様な人が利用するコンビニエンスストア、本に関心のある人が集まる書店、ツイッター、そして館内という複数の場でPRを行うことができたため。	(49) 継続実施 《(46)の再掲》
			(会議やアウトリーチ活動等での広報)
A	A	研修などで県図書館の紹介を行ったほか、久屋ぐるとアートで開館30周年の展示、ファミリーマートでのポスター掲示などアウトリーチの場による広報を行ったため。	(50) 継続実施

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
(開館30周年事業の実施)	
(57) 2020年度に立案した記念事業について、順次着実に実施していきます。	○ 企画展示、講演会などの記念事業を実施した。 (p3「① 愛知県図書館開館30周年記念事業」参照)
(利用者参加型の企画の実施)	
(58) 「図書館探検ツアー」やワークショップなどの利用者参加型企画について、安全対策をとり再開する準備をします。	○ 開館30周年記念・建築ワークショップ「くつろぎハウスをつくろう!」を実施。(11/27)(参加者:20人) 【共催:JIA愛知】
(文化芸術機関等との連携)	
(59) 愛知芸術文化センター(栄施設)の各施設や陶磁美術館、愛知県公立大学法人の各大学等と連携して、第一線の文化芸術活動を一般の方に紹介する講演会等の企画展示を実施します。 《(44)の再掲》	《(44)と同様》

			2022年度の事業計画
昨年度 評価	点検 評価	理由	
A	A	立案した記念事業について、着実に実施することができたため。	完了
			(利用者参加型の企画の実施)
—	A	感染症拡大防止対策を徹底して、小学生を対象としたワークショップを実施したため。	(51) 継続実施
			(文化芸術機関等との連携)
A	A	愛知芸術文化センター、陶磁美術館、愛知県立大学、愛知県立芸術大学などの専門家による講演会、並びに障害福祉課との連携によりアート雇用の障害者による作品展を実施することができたため。	(52) 継続実施 《(39)の再掲》

取組 4 図書館活動を支える県図書館の体制の整備

【行動目標⑨】ものづくり文化、地域資料などの専門的な資料の収集と提供

概要：改正した収集方針等に基づき、ものづくり文化資料、地域資料等を重点的に収集し提供します。また、拠点図書館として市町村立図書館の蔵書を補完する役割を果たし、県図書館ならではの専門的な資料や研究書等を中心に充実した蔵書を収集し提供します。

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
(蔵書検索アクセス数)	
(60) 本県の特性に応じた、県図書館らしい蔵書構築やその充実に努め、蔵書検索アクセス数を年間180万件以上となるよう努めます。(運営指標)(あいち文化芸術振興計画2020数値目標)	○ 年度計2,085,425件(進捗率：116%)
(重点収集資料の受入れ)	
(61) 重点分野の資料について、引き続き受入点数の50%以上を占めるように努めます。 ・5か年受入6万点(予想)のうち当該分野を3万点以上にします。	○ 受入点数に対して51.9%を占めた。
(社史等ものづくり関係資料の受入れ)	
(62) 社史等ものづくり文化に関する資料について、担当と協議し、100点以上の受入れを目標に、必要な資料を調査・選定し、収集・整理します。2023年度末社史については、7700点所蔵します。	○ 未所蔵の社史等を調査し、107件を寄贈依頼し、88件の寄贈を受けた。依頼したもの以外も合わせて113件の受入を行った。
(資料の充実を図る事業の検討)	
(63) New! 県民の方が寄附しやすい仕組みを検討し、本の寄附を募るなど、資料の充実を図るための新たな事業の実施を検討します。	○ 新たな寄附制度「あいちBookサポーター」を開始した。(2/4)

【行動目標⑩】新しい取組みを担う県図書館職員の育成

概要：社会の変化や多様なニーズに応えるため、図書館サービスを効果的・効率的に行う研修や調査研究の実施に努めます。

2021年度事業の点検・評価	
事業計画	取組状況
(館内研修の推進)	
(64) 県の拠点図書館としての役割について理解を深める館内研修について、規定の回数(10回)実施できるように努めます。	○ 計11回の館内研修を実施した。 (p10「6 館内職員研修の実施」参照)
(DX人材の育成)	
(65) New! 県図書館における今後のDX(デジタルトランスフォーメーション)を考え推進できる人材を育成するため、DXを取り上げた館内研修を実施することに努めます。	○ 日本マイクロソフトに講師を依頼し、Web会議による研修「図書館と博物館のDX」を実施した。(5/13)
(職員の研修)	
(66) 図書館の運営に資する統計学や広報手法等関連領域の研修(e-ラーニング等非対面型の研修含む。)に職員の受講を促します。(目標：延べ10人の受講)	○ 関連領域への研修に7件8人を派遣した。
(講師派遣・成果発表)【運営指標・数値目標見直し】	
(67) <u>市町村立図書館等への職員の講師派遣や学協会等での発表(会報や学協会誌等での文献発表を含む)を年間17回以上実施します。(地域の要望に積極的に応じるとともに、広報にも努める)</u>	○ 23件29人の派遣・成果発表を実施した。

			2022年度の事業計画
昨年度 評価	点検 評価	理由	
A	A	目標件数を上回ったため。	(蔵書検索アクセス数) (53) 継続実施
A	A	重点分野の受入が50%以上を占めたため。	(重点収集資料の受入れ) (54) 継続実施
A	A	100点以上の社史の寄贈を受けることができたため。	(社史等ものづくり関係資料の受入れ) (55) 継続実施
—	A	新しい寄附の仕組みを検討し導入したため。	(資料の充実を図る事業の検討) (56) 寄附の仕組みを整備し、「あいちBookサポーター」制度等を活用し、資料の充実を図ります。

			2022年度の事業計画
昨年度 評価	点検 評価	理由	
B	A	規程の回数を上回る研修を実施することができたため。	(館内研修の推進) (57) 継続実施
—	A	D X を取り上げた研修を実施することができたため。	
A	B	10人には届かなかったが、必要な研修を受講させたため。	(職員の研修) (58) 継続実施
A	A	協議会委員、YAサービス、児童サービス、電子書籍導入などの研修講師を派遣し、その回数が目標を上回ったため。	(講師派遣・成果発表)【運営指標・数値目標見直し】 (59) <u>市町村立図書館等への職員の講師派遣や学協会等での発表(会報や学協会誌等での文献発表を含む)を年間20回以上実施します。(地域の要望に積極的に応じるとともに、広報にも努める)</u>